

講義コード	1127	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクナイヨウ(コトバ)	(フリガナ)	クニヒロ カツヨ
授業科目名	保育内容(言葉)	担当教員名	国広 勝代
英文授業科目名	Contents of child care and education (language)		
基準年次(開講期)	2年次(前期)	履修形態	必修(幼稚園課程、保育士資格)
曜日/時限/講義室	木曜日/3時限/保育実習室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	人間 言葉 発達 教材 保育内容 児童文化財		
授業概要・目的	言語能力を育てることは、教育の重要な課題であるが、特に乳幼児期は言葉を獲得する重要な時期であり、その発達課題への十分な認識をふまえた援助がなされなければならない。本演習では、保育所保育指針・幼稚園教育要領に示されている領域「言葉」の目標や内容の理解を深めるとともに、幼児期の豊かな「言葉」を育てるための教材について体験し、指導法を習得していく。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を言葉の観点から捉えることができる。 ・子ども理解を深めながら保育内容、教材等について具体的・実践的に学ぶ。 		
授業計画			
第1回	人間と言葉		
第2回	言葉の発達とかかわり		
第3回	幼児と領域「言葉」		
第4回	言葉の障害について		
第5回	言葉を育てる教材と指導の実際(絵本)		
第6回	言葉を育てる教材と指導の実際(素話)		
第7回	言葉を育てる教材と指導の実際(詩)		
第8回	言葉を育てる教材と指導の実際(紙芝居)		
第9回	言葉を育てる教材と指導の実際(人形劇・指人形)		
第10回	言葉を育てる教材と指導の実際(ペープサート)		
第11回	言葉を育てる教材と指導の実際(パネルシアター、エプロンシアター)		
第12回	言葉を育てる教材と指導の実際(ことば遊び)		
第13回	言葉を育てる教材と指導の実際(手遊び)		
第14回	保育の中の言葉		
第15回	児童文化財を中心とした援助とかかわり		
教科書・参考書等	大越和孝・安見克夫・高梨珪子・野上秀子・斎藤二三子編著『言葉とふれあい言葉で育つ』東洋館出版社 駒井美智子編『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』みらい 小田豊・芦田宏・門田理世編著『保育内容 言葉』北大路書房		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス			
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業態度(10/100) ・教材研究の姿勢(20/100) ・実践する能力(70/100) 		
メッセージ	演習科目は、積極的に参加すると授業が楽しくなります。自ら楽しんで実践力をつけましょう。		
オフィス・アワー			
その他			